

社会技術革新学会

研究計画報告書

研究会の名称 ^(注)	事故事例研究会（第Ⅴ期）
企画運営委員会受理日	2017年3月15日 企画書受理
計画書	
参加者	<p>会員 座長 横山哲夫 大川原化工機（株）</p> <p>副座長 石川 諭 綜研テクニクス（株）</p> <p>幹事 赤城和幸 綜研化学（株）</p> <p>奥山文彦 日本化学工業（株）</p> <p>構成員 大川原正明 大川原化工機（株）</p> <p>中島 幹 綜研化学（株）</p> <p>野田 剛 （株）浮間化学研究所</p> <p>事務方 澤木真吾 大川原化工機（株）</p>
研究開始年月および 研究終了予定年月	<p>2017年4月から</p> <p>2019年3月まで</p>
研究の目的	<p>(1) 企業内における安全対策を社会情勢から考察し研究する。</p> <p>(2) その安全対策を次世代に伝えていく方法を研究する。</p>
研究計画の内容	<p>第Ⅳ期では、「安全対策の伝承」を試みたが、伝承という言葉に教える側の一方向的な姿勢が感じられ、「互学互教」の観点から問題を感じた。当研究会の方針である事故事例から安全対策を学ぶ活動を第Ⅴ期でも続けるが、安全に対して個人が自発的に行動する方法を探っていく。また、次世代が中心となって研究会を運営し、自らが学び教えることができる場を作っていく。二ヶ月に一回の頻度で、研究会を実施する。</p> <p>第Ⅴ期は、社会技術革新学会の事業年度の開始が4月であるため、それにあわせ、4月21日の研究会を第1回目とする。また、新たに研究会の事務方として、大川原化工機（株）の澤木真吾を任命し進めていく。第Ⅴ期の研究会開催は12回を予定するが、研究成果は毎年度ごとに取りまとめ、社会技術革新学会に報告する。</p> <p>1回 研究会 2017年4月21日</p> <p>テーマ：リスクセンス 話題提供 大川原化工機 横山哲夫</p> <p>実際に現場で活動する各個人が、自ら安全を考えなければ、労働人口が減少していくなか、事故が多発する可能性が考えられる。現場におけるリスクをどのように感じ取り事故の防止を行うことができるかについて討議する。</p>
受理番号	企画運営委員会 受理 2017年 6月 14日

(注)「研究会の名称」は、企画運営委員会で受理された企画書に記載されている名称を記入する。

報告書

年度

企画運営委員会受理

年 月 日

年度

企画運営委員会受理

年 月 日